



建設中の荒瀬ダム



イメージ図

国営かんがい排水事業「肝属中部地区」について

台地に水を！ 肝属中部畑かん

国営肝属中部畑地かんがい事業は、大隅半島の中央部に位置する鹿屋市、肝付町の1市1町にまたがる1,810ha（普通畑1,760ha、樹園地50ha）の畑に水を送るために、平成9年から始められた事業です。

この地域は、年間降水量のうち梅雨時期と台風時に降雨が集中し、さらに畑が保水性の乏しいシラス台地上に分布しているという地理的条件から、特に夏場の渇水期においては農作物が育つために必要な水量が確保できず、慢性的な水不足の状況になっていました。

そのため、同事業において肝属川水系荒瀬川上流（肝付町）に建設している荒瀬ダムを新たな水源として、このダ

ムから畑へ水を送る水路（パイプライン）等の整備を行っています。

この事業が完成することで慢性的な水不足が解消され、品質のよい農作物や水を利用した施設野菜など、収益性の高い農作物の導入が可能となり、農業経営の安定と生産性の向上が図られることとなります。

現在、建設中の荒瀬ダムは、約220万m³の水を貯めることができ、その貯水量は学校にある25mプール（長さ25m×幅15m×深さ1.5m）の約3,900杯分に相当。大きさは、上高隈町にある高隈ダムの約1/5程です。

平成19年4月末現在で、鹿屋市及び肝付町で約8kmのパイプラインの埋設が終り、引

き続き、道路の下などに幹線・支線併せて48km埋設する予定です。

今後も工事の早期完了に向け努力していきますので、工事の実施にあたっては、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いたします。

【問い合わせ】

- 九州農政局肝属中部農業水利事業所
0994 409033
- 鹿屋市役所
0994 432111
- 市農地整備課畑かん整備係
内線3233
- 市農政課生産振興係
内線3206
- 吾平総合支所産業振興課
内線5455



パイプラインの埋設